

Hygeia Annual Meeting 2011

講義・症例発表アンケートまとめ

2011年 10月30日(日)

全国町村会館(東京都千代田区永田町)

2011年11月 徳本美佐子

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

Hygeia Annual Meeting 2011 講義・症例発表概要

日時 : 2011年 10月30日(日) 09:00~17:00

場所 : 全国町村会館 (東京都千代田区永田町) ホールA

参加者 : 歯科衛生士 42名
 歯科医師 3名
 他 1名

Hygeia Annual Meeting 2011 講義・症例発表概要

内容 : 講演

「規格性のある資料の重要性と利用法」

太田貴志先生（山形県山形市 太田歯科医院）

症例発表

「日吉歯科診療所症例 Hidion Cariesを考える」
（日吉歯科診療所）

「メンテナンス移行への取り組み」
（岩田有弘歯科医院）

「小児の取り組みからみえてきたこと」
（柴田歯科医院）

「約1年間のMTM実践をふりかえって」
（平井歯科医院）

「欧米に見るリスク評価の利用法」
（伊藤デンタルクリニック）

「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」
（日吉歯科診療所）

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

全国町村会館（東京都千代田区永田町）



Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

HAM2011講義・症例発表風景



Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・改めてオーラルフィジシャン歯科医院としての心構えを学ばせて頂きました。患者さんへの正しい情報を伝える努力をして行きたいと思います。(Dr)
- ・DHに対する診療に必要な知識をまとめられた発表なので、DHの知識意識向上にとっても役に立ったと思います。(Dr)
- ・歯科医療を展開する上で、原点に帰って何が大切であるかを再認識させて頂きました。頭を整理するいい機会になりました。また、素晴らしい長期症例を見せて頂き、感動すると共にいい刺激になりました。(Dr)
- ・患者さんにとって自分は衛生士として何ができるのか。どうなっているのか、改めて考えさせられました。患者さんにとって歯科医院来院という、一大イベントを無駄にしないよう、資料取りやアプローチを考えて見直していきたいと思いました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・規格性のある写真を撮る必要性が、改めて確認出来ました。DHになって半年経ちますが、規格性のある資料、情報提供をこれからも向上させていきたいです。
- ・規格性のある口腔内写真やレントゲン撮影をすることの大切さを改めて実感させられました。誰が撮っても同じようになることは患者さんへの説明や、長期症例のデータをまとめるためにすごく重要になってくるのだと思いました。
- ・近年、TVで歯科についての情報が多くなってきているのは感じていました。私たちが日々、当たり前前に写真やレントゲンを撮影していたけれど、実際、その資料に対して十分に患者さんに情報を伝えられているか考えると、伝わっていないことがあるかもしれないと考えさせられる講演でした。現在、中断された患者さんを調査しているのですが、何がダメだったのか分析して、今後、新しい患者さんがメンテナンスに通院していただけるようにしたいと思っています。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 歯科衛生士として何がしたいのか。何ができるのかと改めて考えることができました。正しい情報提供をすることで、自分の責任や患者さんへの利益につながる。
- ・ 当院もオーラルフィジシャン以前は、悪いところ、気になるところのみの写真撮影でした。長期にわたり、すべてのデータ蓄積、規格性のあるもの、改めて重要性を感じました。
(健康・疾患のあるもの)
スキルアップにつながる詳しいお話もあり、とても参考になりました。
- ・ 実にわかりやすい講演でした。いかに患者さんに理解してもらうかは、衛生士自身が十分に理解したうえで、説明していくか再確認しました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 全身疾患について奥深いことまで教えていただき、大変分かりやすかったです。糖尿病についてはもう一度勉強したいと思います。自分がどういうDHになりたいのか、もう一度見直し、明日から情熱もって、また頑張りたいです。大変やる気のでるご講演でした。
- ・ 歯科衛生士として意識の持ち方、姿勢、正しく伝えることの大切さを改めて考えさせられました。また、口腔内だけでなく全身疾患にも目を向けていくことの重要性を感じました。
- ・ 私もしっかりDHとして何が出来るのか良く考えていきたいと思えます。
- ・ 基本的なことから復習でき、長期の症例なども私は持っていないので興味深く拝見させて頂きました。ホープレスだと思ったものでもメンテナンスを継続することで、長く歯を維持することが可能だということを改めて感じました。
- ・ 一人一人の患者さんと向き合い、患者さんの状況を充分把握することが大事であるということを再認識することが出来ました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 31年間、熊谷先生と共に様々な活動をしてきたということもあり、絶対にブレない考え方や思いが本当に一緒だなと思いました。太田先生が本当に患者さんのために考え行動していることに感銘を受けました。ありがとうございました。
- ・ 長期に渡り、患者さんに関わっていけるよう、これからも頑張りたいと思いました。コンサルティングの仕方なども伺えたらと思いました。
- ・ しっかり規格性のある資料をとったら、患者さんにフィードバックすることが大切だと思いました。患者さん自身に自分の健康を自分で守る意識を持ってもらえるような情報提供を続けていきたいです。そのために、DHとして長く働いていきたいと思いました。
- ・ 将来、歯科衛生士としてどうなりたいのか、どのように患者さんと関わり、口腔をより健康に保つのか、色々考える課題が見つかりました。ありがとうございました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 口腔内の状態が悪いのは、患者さんが悪いのではなく、医療従事者がしっかりと伝えていないからだという言葉が強く残りました。自分でも長期症例を持って、自分で受け持つ患者さんに提示するものを作りたいと思いました。
- ・ 幅広い内容のセミナーだったので多くのことを考えさせて頂きました。先生から教えて頂いた規格性のある資料をとるということ、それを分析できる目を持つことを考え、高めていき、多くの歯を残すことができたらいいと思います。
- ・ 長期症例は素晴らしかった。重度の歯周病の症例をEXTせずに安定させているのは参考になった。
- ・ 「衛生士は、自分がどうなりたいのか、何をしたいのかを考えながら働く」ということと、「社会に衛生士はどのようなことができるのかアピールすべき」とおっしゃっていたことに感銘を受けました。歯科衛生士という職種が発展していくために、社会へのアプローチをしていく必要があると思いました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ どのような衛生士になっていきたいか、患者さんとどういう風に付き合っていくべきか改めて考えさせられました。長期にわたった患者さんとの付き合いを自分も衛生士としてしていけるように努力していきたいです。
- ・ Drが腹をくくらなければいけないということはよく伺っていましたが、DHも腹をくくらなければいけないというのは初耳だったので、身が締まる思いで聞いていました。OPのHygeiaのDHとして、どうあるべきかしっかりと考え、具体的な目標をたてていきたいです。
- ・ 規格性のある口腔内写真、X-rayを気を付けて撮っていくこと、又、診断をしていくことが、改めて大切だと感じました。患者さんにわかりやすく伝えていきたいです。
- ・ 正しい情報を伝えることが大事で、伝えたからには自分のスキルアップも必要になることが改めて感じました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 糖尿病、血糖値、高血圧、腎疾患、透析の患者さんは、日常来院されることが多いが、自分は何となくしか理解できていないことに気付いたので、病院に戻ったら自分なりにまとめていきたいと思いました。
- ・ 私たちは専門家として、患者さんへの情報提供を怠らない事が本当に大切だと感じました。根気強くいる事、患者さんの背景に常にアンテナをはる事、大切にしたいです。全身疾患も参考にして対応する事をもう一度院内で確認し合いたいと思いました。
- ・ ヘルスケアの時など、なつかしい話もあり私自身も振り返る事ができ、改めて気持ちを強く持つことを感じたし、何度でも同じことでも勉強した方がいいと感じた。内科的な疾患でのメンテナンスの注意的なスライドをもう一度見てみたい。カルシウム拮抗剤や人口透析など。患者情報のプロトコール後の、患者の疾病構造の把握など書かれたスライドももう一度見たいです。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ 歯科衛生士としてどうなりたいのかを考え、そのためのスキルアップとは何が必要なのか、考えさせられました。
- ・ データを正しく伝えることが、患者さんの考え方、価値観を変える事が出来ることで、患者利益をもたらす事だと実感しました。医院、自分の評価、分析にも使っていきます。
- ・ 患者が求めているものへの理解するためにも、規格性にある口腔内写真、Xrayは不可欠であることを改めて思いました。そして、その要望に対する自分のスキルをもう一度見直して、日々の臨床での積み重ねとトレーニングを続けていきたいという意欲がさらに増えました。
- ・ 正しい情報提供をすることで一番大切なことは、「規格性のある写真・デンタル」を撮る事。それがあすることで、患者さんのモチベーションが上がり、信頼関係が築けると改めて感じました。また、時間がないを理由に撮影せず、ずるずると撮らない期間が長引いてしまっているなので気を付けたい。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・資料の大切さを改めて感じました。長期症例に感動しました。まず、本を読むことから始めます。
- ・規格性のある資料から、隠れている奥深い全体像を含めてわかる事ができ、医療者にとってはもちろん、患者さんに提示し、理解して頂けるよう努めてまいりたいです。
- ・規格性にある資料の重要性もさることながら、太田先生の歯科衛生士として、患者さんにどう向き合うのかを、改めて患者さんの奥深くまで見て、人間としてどう関わるかという言葉が印象的でした。
- ・長期症例を持つ大切さを学びました。自分が担当した症例はとても説得力があるし、自信にもなります。規格が揃った状態で比較ができるということは、きっと自分の歴史にもなると思います。駆け出しの身としては、考えさせられるお話でした。
- ・これからも正しい情報提供ができるように、歯周疾患や内科的予防疾患についての知識を深めていきたいと思えます。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・ DHとして一番何がしたいのかという目標を定めることで、自分の仕事にやりがいを見いだせると思い、改めて考えたいと思いました。
- ・ まだ私は、口腔内写真の練習中ですが、患者さんが納得して治療やメンテナンスを受けてもらう為にも、正確な資料を揃える重要性を感じています。今の時点で私ができる事をこつこつとやっていきたいと思えます。
- ・ 太田先生の貴重なお話を聞いて大変勉強になりました。症例を拝見して、私の技術不足、知識不足を痛感しました。規格性にある資料をとり、読み解く力を養っていけるよう努力します。
- ・ 改めて、熊谷先生、太田先生方達の苦勞、継続する事の重要性を感じた講話でした。その中で「人はよく分からないものには価値を見出すことができない」というのは、まさに私たちが取り組んでいることだったので、とても強く印象に残りました。そして、情報提供も必要だが、それはその分、自分たちDHにも責任が生じる事。常に学びの姿勢でスキルアップしていきたいと思いました。

講演「規格性のある資料の重要性と利用法」感想

- ・自分のメンテナンス患者さんが、年数が長くなればなるほど、人としての付き合いが重要であることを実感します。今まで、自分の説明と患者さんの理解が違っていることがわかっていても、理解出来ていないとしたら自分の責任なんだと考える機会は少なかったもので、今後、理解度についても考えたいです。
- ・資料の大切さ、自分がどういうDHになりたいのかよく考え、日々の診療に取り組みたいです。
- ・規格性のある口腔内写真は、重要だととても思いました。最近、撮れていないと感じていたので改めます。医者からの患者さんへの説明が、あまり伝わっていないことを頭に入れて、コミュニケーション能力をあげたいと思います。
- ・今回、初めて参加させて頂き、私は受付ではありますが、とても、勉強になりました。受付でも患者さんにお伝え、聴く場面は多々ありますので、伝える為、日々努力していきたいと思います。ありがとうございました。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・急速に進行するカリエスの症例を見せていただき勉強になりました。DHとDrの連携を高め、患者さんの社会的な背景にも注意を払っていきたいと考えさせられました。(Dr)
- ・歯科衛生士として、プロとしての面を非常に高いレベルで見せて頂きとても参考になりました。スタッフがいかに継続して業務でき、成長できているのかを考えさせられる発表でした。(Dr)
- ・とても貴重な症例えをシェアしていただき、ありがとうございます。症例の起きた結果を検討し、突き詰める姿勢に感激しました。素晴らしいと感じました。(Dr)
- ・咬合面カリエスの診断はとても難しく、自分にとっても課題でした。村岡さんの症例を聞き、どういう風に考え、どのように資料を探し次につなげていったかが、わかり参考にして行きたいと思いました。
- ・歯を守ることをするうえで、自分の技術を向上し、見逃さないでしっかりとしたいと思います。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ デンタル、口腔内写真を定期的に撮影していても、カリエスをみのがしてしまうケースは注意が必要だなと感じました。
患者さんの生活環境の細かいところまで目を向ける必要があると、感じました。
- ・ 小児の患者さんも担当しているので、とても有意義な内容でした。
日頃から初期がある患者さんを診る時は、気を付けているけれど年齢で見方を変えるということをしていなかったように思っていたので、明日から年齢や生活環境や見えない部分にも目を向けていこうと思いました。
- ・ カットオフポイントを念頭におき、臨床にいかしていきたと思いました。見極めはとても難しいと思いますが、Dr、DH、データ、口腔内をもとにきちんと診ていきたいです。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ 同じ症例があり落ち込んでいたのですが、再石灰化を考慮したカットオフポイントという考え方に間違いはなかったと確認出来たこと、具体的に今後の注意点、視点を教えて頂きありがとうございました。
- ・ 自分も体験した事のあるHiddonCariesの症例発表、ちょっと心が痛みながら聞いていました。いかに早期発見し、Drと連携をとりながら、一人の患者さんに向かっていくか考えさせられました。
- ・ とても参考になりました。米沢も帰省時にメンテナンスに来院される大学生も多いので、気を付けなければと思いました。一人暮らしで食回数、内容も変わる方も多いので、歯だけでなく、社会的環境もしっかり見ていかなければと思いました。
- ・ う蝕予防の考え方で重要なことなのに見落としてしまう部分、生活環境の変化がリスクの変化、進行のスピードの変化にもつながることを気づかせていただきました。歯でみるのではなく、口腔内、社会の環境も含めて経過を見る事。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ 私にとっても、あのカリエスが広がってしまっているデンタルはドキッとしました。
- ・ 症例発表のような、着色と思われたカリエスが深く、抜髄となったケースを実際に目にしたことがあります。今後そういったものを見逃さないよう、X-rayなどを活用して気を付けたいと思いました。
- ・ Very Good!!
- ・ 村岡さんの熱い思いがとても伝わってきました。
1回目の症例発表しか聞いていなかったなので、その後、その発表を通してさらに成長し、様々なことを考えたんだなと感動しました。私も涙してしまいました。
- ・ 私もこんな風に発表できるようになりたいと思いました。どのように改善すれば良いのか、もっと日頃から勉強すべきだとこれからの意欲ももっと出てきています。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・私も担当している患者さんで高校生の子がいますが、抜髄になる手前のう蝕になってしまった方がいました。そのためカットオフポイントを偽陽性が増えるところに最近ではおいてしまっていたが、それではいけないと思いました。治療の介入時期を遅らせながらも、しっかり見落とさないようにしたいと思います。
- ・とてもとても良い勉強になりました。聞きながら、きっと発表しづらいただろうな、私ならわざわざ症例発表に使わないと思っていました。が、聞いている側とするとすごく為になりますし、それに対する熊谷先生のコメントにも、DHの成長を期待している感じがすごく伝わりました。
- ・長くメンテナンスに通っている患者さんでも、進学、就職など生活環境が変わることで、食生活、ホームケアについてもきちっと確認することが必要であることを強く感じました。今までは、一度説明しているからと安心していただいていた部分があったと思います。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ カットオフポイントの話を知ったこと、結果的に抜髄になってしまったが、メンテナンス中に様々な事を考えながら、歯を残そうとしていることが分かり、とても参考になりました。
- ・ 私も慎重に見逃さないようにやっているが、やはりデンタルやダイアグノデントで毎回診ていくことの重要性を感じている熊谷先生のコメントは勇気づけられました。
- ・ 今回の症例発表に気を付けていることを聞いて良かったです。生活習慣が変わった時に注意をすることや、歯列不正の場合に複雑な裂溝の形態に咬耗が見られないというような臨床体験から見て来たことも勉強になりました。
- ・ 初期兆候を見逃さず、いつも注意しながら患者さんと付き合っていくことの大切さ、また、Drと連携して患者さんと向き合っていくことが大切なのだと感じました。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ 村岡さんの発表は、聞いていてこみあげてくるものがあり、聞いていて思わずもらい泣きをしてしまいました。日吉のスタッフさんは本当に一人一人のレベルが高いと、2日間を経て思いました。症例を発表するだけでなく、しっかり分析し、的確な意見をまとめていて、ぜひ見習いたいです。
- ・ 色々な口腔内を診ていく中で、大きな気づきなど小さなことでも気をつけて診ていきたいと思いました。
- ・ 普段のスライドと違って、失敗してしまった症例が聞けたので、自分と重ねて見れるところもあり、すごく勉強になりました。一つだけの指標ではなく、いくつかの組み合わせで診断することが大切だと思いました。あとはDrとの間の関係も大変だと思いました。
- ・ 何か、思いもよらぬ結果になってしまった時、原因を考え次の臨床に生かす事がとても大切だと感じました。小さなことでも基準を決め、変化に気を付けるよう、日々取り組みたい。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ カットオフポイントは本当に参考になった。もう少し聞きたいので機会を作って欲しい。Drに怒られず勉強できる環境が羨ましいと感じた。
- ・ 担当患者を持っていると、カリエスの再発、ペリオの進行があるととても残念です。私も同じようなことを起こさせないために、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ アクセルソンの質問を当てはめて、Coを経過をみていくツールにしたい。
- ・ 歯だけでなく、その患者さんの口腔内環境、社会環境も把握したうえで対応する姿勢の重要性が強く伝えわってきました。カリオグラム、レーダーチャートを今よりももっと活用していきたいです。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ カットオフポイントという言葉をはじめて聞きました。着色からカリエス進行を見逃さないためにも、何か変化を見られたからではなく長い目で患者さんを見れるように、定期的に検査を行いたいと、思いました。
- ・ とても勉強になりました。私も頑張ります。
- ・ 日々の診療で振り返る事の大切さを学びました。
- ・ この症例だけをみると抜髄してしまいましたが、それは本当に稀な事で、必要最低限の治療加入を考えると、今まで健康な歯を残した事を考えると、一喜一憂することなく、日々の診療にあたるのが重要だと思いました。
- ・ カットオフポイントをどこに置くか、という点が印象に残りました。カリエスリスクをチェックしていても、判断が難しいケースは多くあると思います。また、Drによって診断が分かれるところでもあるので、どのDrに担当をお願いするか選ぶ際でも考えさせられます。本当に参考になりました。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ とてもわかりやすい症例発表でした。私自身はDGを調べて安心して
いた部分があり、反省しました。カリエスフリー達成者を一人でも
増やせるように日々取り組みたいと思いました。
- ・ 着色とカリエスの違いの見極めは、非常に困難な場合があるので、
常に見る目を養う必要があると思いました。
- ・ 私も同じような経験がありました。メンテナンスに移行して何年
も経過をきちんと見ていくことが難しいと感じています。Drとも
連携して見落としがないよう、経験を重ねていきたいです。
- ・ とても貴重な症例を拝見でき、私の少ないDH歴では考え付かないよ
うな症例の見方で感動しました。雲の上のような存在のDHさんも
一人一人のKrさんを経て、学んでいくのだと知り、大変、意欲がわ
きました。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ 当院ではダイアグノデントがないため、もっぱらX-P上での確認だけですが、この症例のような急性進行するケースを聞くと、注意深くみていかなければいけないと勉強させられました。
- ・ メンテナンスで管理することの責任感を感じました。メンテナンスに通ってもらうことは一番大切な事ですが、通ってもらう分、しっかり管理しないといけないと自分自身も感じました。
- ・ とても勉強になりました。私も日々のメンテナンスでカリエスに気づかず、とてもショックを受けましたが、自分の症例を振り返り学びたいと思います。
- ・ 村岡さんが発表して下さった症例は、とても貴重でためになりました。このような患者さんを作らないように、私も工夫したいと思いました。それにしても介入時期が難しいですね。

症例発表「日吉歯科症例 Hiddon Cariesを考える」感想

- ・ 当院にても、小児、成人と定期的にメンテナンスに来院して頂きながら治療に戻られる方もいます。衛生士自身も悩むと同時に患者さんも受付で吐かれる事もあります。スタッフが悩むと患者さんも不安になるので、やはり今している事をきちんと継続する事が大事だと改めて感じました。ありがとうございました。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 全顎の治療を自費にて行っている医院では、より丁寧な患者さんへの対応が必要なことや、いろいろ特別な事情があることがわかりました。
- ・ 個々人にあった資料の提供がメンテナンス移行につながっているとのことですが、それについてはデータを取れば、その点ももっとクリアになるのではと感じた。
- ・ 信頼関係の構築の仕方や、手書きの資料作りは自医院でも参考にしたいと思いました。
- ・ 完全に自費診療の治療から、メンテナンスに移行させるために、さまざまな工夫をされているのだなと思いました。
- ・ DHさんの患者さんに対する細かな対応がメンテナンス移行につながるのだと思いました。
- ・ 完全に保険外という事で、一人の患者さんにかかる時間、費用、取り組み方、また違う歯科医院の一面、勉強させて頂きました。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 全て保険外はすごいですね。なかなか想像できにくい面もありますが、予防を大切にしているということは同じですね。
- ・ 手紙や一人一人の患者さんへのアプローチ等、素晴らしいと思いました。
- ・ 自費と保険でも、DHの責任、患者さんを良い状態にしたいと思いは一緒だと思います。アプローチ方法が色々あって参考になります。
- ・ 自費、保険という視点でのディスカッションがなされていましたが「遠方から来る患者さんが多い」という点が私は気になった。それは地域にメンテナンスを受けられる医院がないという事ではないか。メンテナンスは一生受けるものなので、地域でのメンテナンスを受けられる医院が多くなることが大切だと感じた。
- ・ 私が今まで（10年間）患者さんへ、再評価の結果や、リスク評価を行う上で、一方的な書面だけでは説明したことがないので、岩田先生の衛生士さんが実際どのような書面を郵送しているのか知りたくなりました。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 保険外診療との事で、患者さんの希望に沿い来院回数や時間のコントロールなど応える事が出来ているなどは利点に感じ、興味を持ちました。
- ・ 時間を診療では3時間、メンテナンスでは2時間というのを聞いて驚きました。初診から再評価のサリバが1ヶ月しかたっていないのは、SM菌が減るのに期間が短すぎるのではないかと思いました。
- ・ 保険外診療という事で、当院とはシステムが異なり、金額等も含めびっくりしました。保険では制限されるような所もある程度自由があり良いのでは。
- ・ 自費医院ならではの工夫をされていることが伝わりました。ただ、この先、患者さんが増えてきた場合、手紙など手間になっていくのではと感じました。
- ・ 昨年の発表よりも、今年の発表は予防の診療内容が多かったので、自費で診療していても、予防をしっかりしているんだなと感じました。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 一口腔30～60万円かかるというのは、正直驚きましたが、保険診療、自費診療に関わらず、衛生士は自分の仕事に責任を持つことが大切だと思いました。
- ・ 保険外診療ということで、どのぐらい自分に投資しているのかということがわかり、自分自身、衛生士がもっと向上していかなければならないという思いが分かりました。だが、自費であろうが保険であろうが向上していきたいです。
- ・ 自費でのMTMの取り組みについて始めて聞いたので、すごく驚きました。自費という事は、初診時に患者の意識が高いと思うので、すごく羨ましいです。患者教育をしてもすんなり分かってもらえると思います。しかし高額な分、適切な処置ができているかどうかは不安に思う点であると思いました。
- ・ 保険でのメンテナンスを今しているので、お話を聞けて良かったです。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 患者さん一人一人への手紙はとても良いと思いました。が、保険で診療している所ではかなり厳しいと思います。しかし、口腔内写真や健康ファイルを渡す際に一言のコメントや予防のポイントは記入できるかと思いました。
- ・ 患者さん一人一人に心をこめて、情報を提供しているので、とても丁寧な印象でした。
- ・ 自費でできるのはいいと思う。安い金額にする必要は本来ないと思う。自費医院ならではの苦勞と取り組みだと思った。
- ・ 患者さんの立場にたって、何が喜ばれるのか、モチベーションをあげられるのかを考えており、参考になりました。
- ・ 1回5万円、初期治療→メンテナンス15～60万円、コストに見合った診療をしているのか、写真を見る限りどうかと思った。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 自費診療ということで、また違った診療スタイルの話を聞くことができたので貴重な時間だったと思います。長く時間をとることができるので、患者さんと話す時間が十分とれることがいいと思いました。
- ・ サリバテストの結果や写真を渡すことができても、時間をさいてまで、あそこまで細かく丁寧に書くことは難しいなと思いました。ただ、もらった患者さんは嬉しく思うのではと思います。
- ・ 自費診療という事で、新しい事をたくさん知りました。
- ・ メンテナンスを継続していく上で、色々な工夫があり良かったと思います。
- ・ 手書きの検査結果は、とても思いが伝わりやすく心に残ると感じました。記録をデジタルに残すため、パソコン入力のみ行っていますが、注意点、注目点だけでも手書きを添える工夫をしていきたいと思いました。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 手作りの資料や手紙を一人一人にお渡ししているのはすごいなと思いました。
- ・ 一人一人の患者さんにお手紙を書いて、親切な対応をしているところは見習っていきたいと思いました。
- ・ 完全自費ですごい。Krとのアポイントの時間をすごくとれるのは、とても良いメリットだと思いました。私も自費で技術料がとれる様なDHになりたいです。
- ・ 初期治療の回数を減らすという事で1回の時間を長くしているという事でしたが、時間内でどれだけポイントを伝えているかが大切だと思います。私も日々それを意識しながら診療しています。
- ・ MTMの重要性や流れは来訪回数を少なくしたり、自費にすることで解決できない問題のような気がします。しかし今後メンテナンスが自費になる可能性も将来あるかもしれないので、その点は学ぶ事もあるかと思います。

症例発表「メンテナンス移行への取り組み」感想

- ・ 自費は、特別な感じがあります。話す、聞く、ほめるはとても大切だと思いました。
- ・ 自費診療の歯科はとても大変なんだなと感じました。これからもがんばってください。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 口腔の健康を守っていくためには、小児からの対応が必要なことが良くわかりました。また、実際に行っておられることを発表していただき大変参考になりました。当院でも小児への取り組みを強化したいと思いました。
- ・ 担当する歯科医院によって、全く異なった結果が生じる事が、太田先生の発表と合わせて理解できると共に、いかにアプローチする時期が重要かが理解出来て良かったです。
- ・ 小児の外部への取り組みは素晴らしいと感じました。自医院でも、小児の増加や親へのアプローチが課題なので解決していきたいです。
- ・ 母親へのアクセスは難しいと思っていたので、もっと伝えられるかなと思いました。
- ・ 柴田先生や衛生士さんの発表を聞いて、待っているだけではいけないと強く感じました。なるべく小児のうちから来院してもらう為に母親サークルなどでのアプローチは大切だと思いました。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 啓発活動に出向き、地域の患者さんの歯に対する意識が高いことに気付けたのは良いなと思いました。自分の地域はどうかと思いました。
- ・ 小児の取り組みに対して、多くの活動を行っていることがわかりました。とても参考になり、自分達も取り組んでいきたいと思います。
- ・ 啓発活動、とても参考になりました。知らない方が大半だと改めて感じました。こちら側から正しい情報を提供していかなければいけないと思いました。
- ・ 当院でも啓発活動を行っていますが、待っていてもダメ。とにかく行動しなければ。実感です。
- ・ 小児への取り組みは本当に大切だと思います。当院もなかなかU20が集まりにくい面があります。待ちの姿勢ではなくて、押しの姿勢で母親共々、来院してくれるようにがんばりたいです。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 親子で通院することのメリットとして、様々なものがあると思い、本当に家族単位で考えるべきなのだと思います。確かに来院を少し促すだけで効果があるのだと思いました。
- ・ 当院でも小児への取り組みを行っておりますので、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 啓発活動など積極的にされていて、その取り組みが来院につながっている事、母親のアンケートなどでも意外な結果が出ていて、来院のきっかけさえつかめば、もっと母親に来ていただければ、子供のリエスフリーにもつながると思いました。
- ・ 診療所の中だけでなく、地域を変えるための取り組みをしているところが素晴らしいと思いました。
- ・ U20→母親へのメンテナンス呼びかけに目を向け、母親へアプローチし、その結果を分析しているところが素晴らしかったです。家族のつながり、人と人のつながりを上手に利用して、ぜひ、地域を変えていってほしいと思いました。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 母親へのアプローチなど参考になりました。持ち帰りフィードバックしたいと思います。
- ・ アンケートから、問題を感じながらも来院しないでいる母親が多いというのを聞き、当院でも今まで以上に力を入れていきたいと思いました。
- ・ 当院でも小児の保護者向けにアプローチをしています。やはり、家族ぐるみできてもらうとデンタルIQもぐんと上がる感じがしますよね。
- ・ 当院では、小児の来院が少ないですが、少ない子供たちで来院が治療が終わってメンテナンスに通っていただけなのは、母親にリスクの事やメンテナンスの必要性が伝えられていないのだなと思っていました。子供だけでなく、親にリスク検査を受診してもらえるようにすれば良いのだなと感じました。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 小さなお子さんの母親という20～30代の方に、積極的にアプローチすることの大切さを再認識出来ました。
- ・ 啓発活動は重要でやろうと考えています。
- ・ 母子ともに指導をしていくということは、子どもにとっても親にとっても非常に大切に意義のあることだと感じた。
- ・ 親子での取り組みが大切なのだと改めて感じました。私たちの医院でも母親への取り組みをもっとしていけたらいいと思います。
- ・ 絵に描いたように、啓発活動から母子の来院が増加し、データが蓄積されている状況がすごく理想的だと思いました。U20への取り組みはたくさんの課題がありますが、柴田先生のところや日吉のU20を参考に当院でも再構築していきたいです。
- ・ 小児を今見直しているところなので、色々なお話が出来、質問もして頂き勉強になりました。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 自医院でも小児は多いですが、母子共々来院することはごく一部です。アンケート結果をみる限り、きっかけがなく来院が出来ていないことが分かりました。これからは積極的に声掛けをしていこうと思います。
- ・ 子供優先で、なかなか歯科診療にふみきれないお母様達は少ないと思います。父親も気にはなりつつも来院していない人がいると思う。小児部門はないですが、子と一緒に来院している父母の方々へ積極的に後押ししたいと思います。
- ・ きちんとデータをとって、親御さんたちの状況を把握されているところはさすがだと感じました。来年も楽しみにしています。
- ・ 歯の価値、予防価値を伝えることが出来れば、家族来院向上につながり、本来の予防歯科としての役割ができるなと思いました。アンケート、とても参考になりました。こちら側から、積極的に心掛けしたいと思います。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 当院でも、母親教室を考えていましたので、是非、参考にさせていただきます。家族単位で来院してくれるように発信していきたいと思いました。
- ・ U20部署がある事より、徹底された予防の取り組みに感動しました。SM菌の母子感染を防ぐために、もう一度小児のリコール状況について見直していきたいです。
- ・ U20の取り組みを早い段階で取り入れる事で、親子で予防ができる。今は、子どもはメンテナンスにきているけど親はメンテナンスをしていないケースがあります。やはり、待っていてはこないなので積極的にこちらからアプローチしていきたいと思いました。
- ・ 小児の患者さんから、その両親や親戚と、口腔の健康を守りたいと思う人を増やしていきたいと感じました。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 子供さんの来院により、母親や父親の口腔内が守られる事は多いと思いました。今後、乳児健診など積極的に参加し、35歳前の来院が重要になると思いました。
- ・ 来院のきっかけ作りは、とても手間のかかる活動だと思います。収入に直結しづらい活動でも広げていく必要性が分かりました。母親世代や働いている世代へのアプローチは、今後の課題だと思いました。
- ・ 啓発活動を医院全体で取り組んでいるのは素晴らしいと思いました。多くの方に予防の大切さを広めるために、私も見習おうと思いました。
- ・ 小児と一緒にいてくる（特に母親）の背中を押すこと、活動の大切さを学びました。私も実際に小児の母親の口腔内が気になることがあります、なかなかそのままになっているので。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ 診療以外に幼稚園などに出向いて、母親セミナーなど啓発活動をしてみたいと院長に話してみたいなと思いました。
- ・ 啓発活動から地域を変える、まだまだ私の医院では、小児への取り組みが少ないので、予防の大切さを伝えられるイベント等、必要だと考えました。小児から両親へのアプローチは驚きです。
- ・ 今回、発表にあたってアンケートを実施し、分かったこと、見えてきたことがたくさんあり、とても自分のためになりました。やはり人に伝えるというのは、とても難しく、しかも行動に移すという所まで意識を変えるのは、時間が掛かるかもしれませんが、この人を良くしたいという熱意をもって頑張っていきたいです。
- ・ どの医院も家族単位での来院に取り組んでいると感じました。周りの人に薦めたくなる位の満足度を得る程のメンテナンスの重要性や価値を伝えられるようになることが課題と思います。

症例発表「小児の取り組みからみえてきたこと」感想

- ・ とても良かったです。小児は幅広く、悩んでいます。少し改善しやすくなりました。ありがとうございました。
- ・ 子供だけでなく、家族もメンテナンスにすることの重要性。
- ・ 当院も小児について、今、話し合っている途中でしたので、とても学ぶことが多かったです。今後、当院も啓蒙活動を活発に行っていきたいと思います。ありがとうございました。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・とても落ち着いて発表が出来て良かったです。
- ・患者を担当することにより、DHの成長の良くわかる発表としてよかったです。
- ・初めての発表にもかかわらず、落ち着いた素晴らしい発表だと感じました。症例も素晴らしかったです。
- ・1年目で担当を持ち、考えながら行うことはとても大変だと思います。見習わなければいけないと思いました。また、新人教育の参考にしたいと思いました。
- ・DHになって1年目の発表をお聞きし、私も来年には症例をしっかりと出せる資料、または発表をしていきたい。そのためにもっと技術向上への取り組みを日々の診療へとつなげたいです。
- ・もともと自分の口腔内に関心がない、説明していた上で反応がうすい患者さんへのアプローチはとても難しいことだと感じました。
- ・1年間の取り組み、大変な時期もあったと思います。素晴らしい症例ありがとうございました。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・モチベーションの高い方、低い方での接し方できちんと変えていきたい。患者さん一人一人に応じた説明などを考えておられることにとても感動しました。
- ・1年間の努力がよく感じられました。写真、デンタルを読み、残石を見つけ、そのフォローを確実にする、医院全体のチームワークの良さを感じました。
- ・担当患者さんの失敗例をあげて、どうしたらいいか積極的に考えようとしている姿勢が伝わってきて、1年目の衛生士さんの発表として新鮮でした。
- ・1年で素晴らしいと思います。やはり初めて患者を担当すると、コミュニケーションの取り方などでぶつかることが日々ありました。今もですが、この発表を聞いて私もがんばろうと思いました。ありがとうございました。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・ 口腔内の関心の低い患者さんへのアプローチは難しいもの。DHとして誰もが悩むことで、それに対する反省、改善することなど初心を思い出すことが出来ました。
- ・ 私も同じように意識の低い患者さんにお会いする事があります。私もよく自分で考え、太田さんのように成長していきたいと思えます。
- ・ 1年目ということで、一生懸命さが伝わってきました。私も患者さんのモチベーションを上げられるよう頑張りたいと思います。
- ・ 真剣に患者さんに対する使命感を持って頑張っていることが好感を持ちました。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・ DH業務が楽しい。もっと向上させていきたい。スキルアップしたい。という強い思いが伝わった発表でした。思いのある人の話は、必ず人の心を動かすと思っています。だから、はじめモチベーションが低そうだった患者さんも変わってくれたのだと思います。その思いを今後も忘れないで欲しいです。
- ・ 先輩DHの助けなど総合力の高さに、私たちも追いつき、追い越したいと努力したいと思います。
- ・ 色々、不安もありながら、考えながら診療しているのが良くわかりました。
- ・ 考える事、学ぶこと、意識によって、やはり成長のスピードが違うのだなと思いました。すべてを指摘するのではなく、許容するところは許容することも重要。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・ リスクの高い患者さんに対しての問題提示の仕方の工夫、患者さんに対してもフォローアップが必要だなと感じました。ケースプレをする事で自分の成長、工夫を再確認できていて、太田さんの発表は良かったと思います。
- ・ よく考えながら診療しているのを感じました。1年でこんなに成長しているのがすごいなと思いました。
- ・ 担当を持って1年で、こんなにまとまった症例を発表できるなんてすごいと思いました。
- ・ 継続して来院してもらうことの大切さ、周りの方に患者さん自身で薦めてもらうことの大切さ、学ぶこと、目標を持って取り組むことが大切だと感じました。
- ・ 1年間でここまでデータが出せるということは、すごく努力したんだと思いました。自分自身でスライドを作り、データを分析しまとめている点が素晴らしかったです。
- ・ 残石確認のため、咬翼法を取っていきたいと思います。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・モチベーションが元々低い人はメンテナンスの重要性についても理解が出来ているのかわからない人も、なぜか定期的に来院されたり、すごく理解してくれていると思っていた人が来院が途絶えたりすることが今まであるので、自分でもこれからも患者さんを診る目をやしないたいと思いました。
- ・院内全体でMTMにそって、一人一人が成長できる環境なのだろうなと思いました。自分でも分からない事が沢山あるので、あいまいにしないで、こつこつと頑張りたいと思いました。
- ・自分自身も再評価しながら、前に向かってるのが伝わって良かった。私もなれあいになってしまった所があると思うので、もう少し向き合っていきたいと考え直せた。
- ・1年担当をし始めた、似たような立場なのですが、ここまでまとめることが出来ていて、すごいなと思いました。それだけ自分が出るかは、一つ一つをしっかりと行うことが大事で、行っていこうと思います。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・患者に対して、先輩のアドバイスを受けながらも確実にリスク軽減に至っているのが素晴らしいと思いました。健康な歯を守るために、周りの家族、環境を変えていくことが大切ということを再認識いたしました。
- ・私も同じような形で、発表させて頂きました。今もその患者さんはメンテナンスで来院されています。初めての患者さんは、何か特別なものを感じます。その患者さんをずっとメンテナンスで診ていきたいと強く感じました。
- ・ホッとしました。ありがとうございました。
- ・プレゼンから、日々の診療で丁寧に、誠実にされていることが伝わりました。
- ・医院教育がしっかりしていると、1年間で歯科衛生士がすごく成長するのだと思いました。一生懸命な気持ちが伝わってくる症例発表だったと思います。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・ たった1年ながら、とても濃い内容の症例発表であったと思います。とても分かりやすく、考えてきた軌跡や葛藤が感じられる発表だったと思います。
- ・ 新人の歯科衛生士さんが、1年間ですごく成長されたことが発表を通じてわかりました。
- ・ 残石などのチェックを咬翼法でとるという事を学びました。
- ・ まだ、私の医院は完全担当制ではないのですが、院長と話し合い、改善して、一人一人の患者さんに向き合い、症例を積みかさめていきたいと思いました。1年間でここまで症例発表をできるなんて、素晴らしいと思います。
- ・ 担当1年目で、考えること、より良い医療を提供しようとしていること、素晴らしいと思いました。
- ・ 医院全体でDHを育てている感じが伝わり、聞いている私も暖かい気持ちになりました。

症例発表「約1年間のMTM実践をふりかえって」感想

- ・ 日々、考えながら患者さんのために診察していることがわかりました。周りのことが自分自身もやっと見えてきたところですが、一生懸命やっている姿勢が伝わってきて、数年前の自分を思い出す機会になりました。
- ・ うまくまとまっていた。家族の来院は大事だと思います。
- ・ とても良い症例ありがとうございました。
私も頑張りたいと思います。
- ・ 1年経過してみえてきたものは沢山あったと思います。
これからも頑張ってください。お疲れ様です。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ アメリカ、スウェーデンの現状を知ることが出来ました。また、それがMTMとそんなに違いがないとわかり、MTMが優れたシステムであることが再認識出来ました。
- ・ 色々なシステムが出てきているが、基本は共通している事が良くわかって良かった。
- ・ 欧米のリスク評価の利用法について、わかりやすく整理し発表いただき、とても参考になりました。
- ・ CAMBRAはガイダンスとして取り入れる事を考えていたので、わかりやすくまとめて頂き、ありがとうございました。活用させて頂きたいと思いました。
- ・ 院内でCAMBRAをまとめる途中で興味深い内容でした。リスクに応じたことを、確実に行っていきたいです。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ スウェーデン、USA、日本を比較してまとめてあり、すごくわかりやすかったです。日本は他国に比べて歯科医療がすごく遅れているように見えるのですが、自分の歯科医院が行っているMTMは素晴らしいことなのだと改めて思いました。
- ・ OPスタッフミーティングでスウェーデンの歯科医療の講演を聞かせて頂いたことがあったのですが、USAでの取り組みは知らなかったので、とても有意義でした。素晴らしい講演ありがとうございました。
- ・ まず読みます。
- ・ 自分の知識不足です。CAMBRAとキャビテーションシステムはじめて聞きました。これから勉強していきます。自分に負荷をかけることは、成長していく上で大切であること実感しています。
- ・ スウェーデンとアメリカとは、日本はやはりかけ離れているんですね。予防後進国の中で、予防に関われたことは本当に幸せだと感じました。日吉歯科の皆さんを目指していきたいと改めて思います。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ 海外と比較した日本というのは、本当に問題点が多いと思いました。特にスウェーデンのシステムは確立されており、さらに良いものが生まれていて、日本も同じように変えていきたいと思いました。
- ・ 頂いた資料を見させて頂き、CAMBRAへの理解を深めていきたいと思っています。
- ・ CAMBRAとMTMは、リスク評価、データなど、やはりわかりやすく、素晴らしいシステムだと思いました。今後、日本の歯科医療も向上することを願います。私たちも頑張ります。
- ・ ボリュームのあるCAMBRAとキャビテーションシステムを、わかりやすくまとめてもらって、しかも、日本の医療も考察してもらって、感謝です。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ 萌さんの最後の言葉、心にしみわたりました。困った時、頑張っている時、周囲の人が協力してくれるのは、萌さんの人間性の表れだと思います。学び続けること、負荷をちょっとかけること、私も一緒に頑張っていこうと思います。
- ・ 最近、医院でも話していたところでしたので、とても興味を持って聞くことが出来ました。
- ・ CAMBRA、キャビテーションシステムについて、名前しか聞いたことがなかったのですが、今回知る事ができ良かったです。
- ・ まだまだ勉強する身として、世界の水準が聞けて良かったです。ますます、MTMを使って診療することが、歯を守ることに繋がっていくと再認識しました。
- ・ スウェーデンやアメリカで行われているシステムが、MTMと同じようなものであり、世界基準なのだということが改めて知る事が出来ました。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ 世界のリスク評価を知ることが出来て、とても興味を持ちました。今後、診療にも生かしていけたらと思います。
- ・ 医院でよく勉強します。
- ・ CAMBRAについてお話を聞くのは初めてだったのですが、とてもまとまっていてわかりやすかったです。
- ・ 自分たちが今取り組んでいることが、世界に認められるように努力していきたいと改めて感じることが出来ました。
- ・ とても分かりやすくまとまったプレゼンテーションですごく良かったです。恥ずかしながらキャビテーションシステムということを知って聞いたので、まったくの無知でしたが、今回の発表ですごく良いシステムだと思いました。自分でも詳しく調べてみたいです。
- ・ 海外での方法を聞く事ができ良かったです。日本でも、もっと歯の価値を伝えていきたいと思いました。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ GAMBRAという名前は聞いたことがありましたが、英語なのでとても見る気にならなかった自分がいましたが、とてもすごくまとまっていて素晴らしかったです。
- ・ 世界水準の診療をしたいと医院で掲げながら、現実にはMTMとそうでない患者が混在しているのが現実です。世界の質の高さを改めて感じました。きちんとした基準作りと、患者自ら、自分の診療を選択できる事がすごいと思います。
- ・ NPO法人のサイトからみたことがあるが、もう少し解説が欲しかったので、聞いて良かった。しかし、もう少しスライドの資料も欲しいです。後でもう少し理解したいので。
- ・ 日本の予防後進国の現状は知っているものの、スウェーデン、アメリカのシステムまで知らなかったなので、とても勉強になり、課題だらけだなと思いました。MTMの実践、頑張りたいと思います。自分に少しの負荷をかけて。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ CAMBRAという評価法や対象療法が分かり良かったです。レントゲン時期の参考にさせていただきます。
- ・ CAMBRAはリスクに応じたガイドラインが出来上がっていて、分かりやすいものになっているという印象を受けました。日本はまだまだ治療中心の医院が多い状態ですが、これから先にMTMにのっとったOP医院が増えていけたらいいなと改めて思いました。
- ・ 欧米に比べると、日本の歯科医療はまだまだだなと感じました。キャビテーションシステムが日本に導入されるとどうなるのかと思いました。
- ・ 新しい話、勉強になりました。
- ・ CAMBRAについて、明日、医院にて検索して勉強したいと思いました。
- ・ CAMBRAも分かりやすくまとめられていて、良くわかりました。医院に帰ってから、もう一度確認し勉強し直してみたいと思います。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ 2つのシステムは初めて聞くものでしたが、CAMBRAがMTMととても似ていて驚きました。レントゲン頻度の厳密な定義など、データが有効に応用され、今後の参考とさせていただく大切な資料を頂けたことに感謝です。
- ・ CAMBRAとキャビテーションシステムは始めて聞く言葉でわからないことがたくさんありました。今後、いろいろと勉強していきたいと思います。
- ・ カリエス管理が一定の基準で評価するということが、医療を受ける側にも、する側にもわかりやすくいいなと思いました。
- ・ 自分自身に投資して、世界に目を向けて頑張っているのが素晴らしいと思いました。
- ・ 世界水準の医療を提供できるDCは素晴らしい。日吉歯科のような患者利益、世界水準の医療を目指したいです。自分に適切な負荷をかけて頑張ります。

発表「欧米に見るリスク評価の利用法」感想

- ・ 正直、CAMBRAというシステムを初めて聞きましたが、ガイドラインがとても詳しく、今後の診療にも活用していきたい。最後に、DHとして成長するために少し負荷をかけるという事を話されていましたが、実際、自分も以前勤めていた医院より忙しく働いているが、OP医院の方がDHのやりがいが一番感じられる医院なので、とても楽しいです。
- ・ 私もマルメ研修に参加させて頂きましたが、スウェーデンの歯科医療哲学の素晴らしさを感じました。データに基づいたメンテナンスがされていて、MTMを通ずるものがあると思っていました。
- ・ 日本はまだまだと感じました。
自分への投資はいつまでも必要だと思います。
- ・ MTMとCAMBRAが似ていたのも、すごいなと思いました。
規格性のあるMTMを目指したいと思います。
- ・ 海外と比較すると、日本はやはりまだまだだと感じます。MTMを基にこれから普及していけたらいいなと思います。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ SRPをきちんと行う事や生活習慣の改善などで、全身疾患が改善されるということがわかりました。口腔の健康が全身の健康に影響を及ぼしている事の証であると思います。今後も口腔の健康が増進できるよう頑張りたいと思います。
- ・ 総合力のある開業歯科での症例検討として、非常に参考になる発表でした。ありがとうございました。
- ・ SRP後の白血球の変化は驚きました。歯科が全身の健康に寄与できる可能性を再認識しました。今後、同じようなケースを診療する際の参考にしたいと思います。
- ・ 狭心症の患者さんは多く、服用薬も多いので、薬の事に関して再度勉強したいと思いました。
- ・ 担当DHがみるのだけではなく、ほかの人が読める資料をとれるようにしたいです。薬、タバコ、色々な因子を考えるDHになりたいです。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ 全身疾患と歯科医療の関係、薬の副作用による口腔内の変化などを良く観察が必要だなと感じました。改めて、全身疾患との関連を勉強しようと思った。
- ・ 狭心症の患者さんを担当していなかったのですが、健康だった方でも、いつ何が起こるかわからないので、常に患者さんの変化に対応していけないといけないと思いました。狭心症だからではなく、抗凝固剤を服用されている方はおられるので、その方のアプローチも今までは不十分なので調べたいと思いました。
- ・ DHの連携、質の高さ、日吉のチームワークを感じました。
- ・ 患者、DHがいかに本気になって取りかかっている、白血球数を減少させる事ができたという症例、とてもわかりやすい症例でした。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・薬についての知識はほぼない（このように詳しく説明できない自分です。）これからの課題の一つです。全身疾患の関係について、もう一度（以前の10倍ぐらい）勉強します。大変参考になりました。そして、徳本さんとお話しできると本当に元気になり、やる気が出ます。ありがとうございました。
- ・メンテナンスで安定している方でも、全身疾患により、これほど口腔内へも変化があるという事を理解しておかなければと思いました。とても参考になりました。
- ・やはり、口腔内の健康は全身へ大きく関係しているという事が大きく、それも含めて患者さんへ伝えていきたいです。
- ・内容が濃く、今まで狭心症の患者さんでここまで考えてしたりしていなかったので、しっかりと原因を考察することが大切だと思いました。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ チーム医療の大切さが最大に発揮され、いい方向に患者さんの口腔が守られているのがわかる症例でした。徳本さん、今回は本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・ 服薬や全身疾患への取り組み、知識の向上に努めたいと思いました。
- ・ 全身の疾患と口腔内の状況は関わりがあるんだと改めてわかりました。また、PCRも重要だと思いました。フロスの定着も患者さんで難しい方がいるけれども、アプローチを続けていく必要があるなと感じました。
- ・ SRPがいかに全身疾患に対して影響があるかということは、分かっていたのですが、実際の症例として見せて頂いたのは初めてなので、改めて、私たちのするSRPは口腔内だけのことではないのだなと感じました。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ 内科的疾患のある患者さんに対して、服用の薬、タバコのリスクをもう一度学習しておくべきだなと感じています。メンテナンス中にも気になる所は歯石探知を注意深くする必要があり、全身疾患の変化も聞き忘れないようにしなければと思いました。
- ・ もう一度、自分の患者さんの服用している薬を見直したり、ポケット改善をもっとできるようにしたいと思いました。
- ・ とても勉強になりました。感動しました。ありがとうございました。
- ・ これだけSRPが全身に与える影響が大きいということに驚きました。問題にぶちあたった時に、そこから総合的に色々な事を学び、患者さんに還元していく素晴らしさを症例を通して学べたように思います。
- ・ 全身の健康は、口の中からと再確認しました。学ぶことはまだまだたくさんあるのだなと、改めて感じる事が出来ました。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・担当患者が増えれば、それだけ多種多様な問題点が出てきます。その問題に対して、真正面からぶつかっていき、データを分析し、的確な処置を行っているのは、根本的な知識や技術があるからだと思われ、改めて考えさせられました。
- ・まだ、狭心症などのリスクファクターなどを持った患者さんを診ていないので、これから持つ事になると思うので、今回学んだことを生かしていきたいと思います。
- ・初診時は健康で、狭心症になり状態が変わるところや、治療の経過が見れてとても良かったです。日吉の衛生士さんも色々な壁にぶつかって、解決しているんだなと思いました。
- ・患者の背景をきちんと理解し、確かな技術を持つ事が患者を救うのだなと思いましたが、日々、分からない事や患者の事、医学、きちんと勉強していきたいし、自分と患者を救うのだと思う。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ 診療時のアドバイスを聞きながら患者に対応できるのはうらやましく思った。再SRPの対応の基準はBOPだけでいいのかと普段悩む事がある。
- ・ いろいろな疾患を持っている患者さんは多く、SRPの処置を行い結果が出ていることはとても参考になりました。また、薬の副作用など勉強しなおさなければと思いました。
- ・ 服薬も定期的にチェックしています。メンテナンス時、変化した時はGチェックを強くするようにします。服用しているから出血不正というよりは、やはりプラークや歯石の元凶があったからだと思うので、併せてコントロールできるようにしたい。
- ・ 口腔内環境は全身と深く関わっているという事を改めて感じさせられました。薬の服用を今後気を付けていきたいと思います。
- ・ 症例を作ることで、また違った見方ができ再発見することで、更に患者利益につながると感じました。薬についてはあまり深く考えることがなかったので、そういったところも勉強したいと思います。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ とても勉強になりました。勉強します。
- ・ 今後、持病のある患者さんが多く来院されることを考え、もっと、勉強していかないといけないと痛感しました。
- ・ 問題のある症例を話しにくい所もあったと思いますが、色々配慮して頂きありがとうございました。今後、SRPの技術の向上を目指して具体的な目標を持って、明日から頑張りたいと思います。
2年以内にSRPの技術習得。
- ・ お薬を飲んでいる方の口腔の反応は、予測が難しく、なぜ治らないのだろうと疑問に思うケースがありました。基本に忠実に一つずつ確認し、問題点を全身的にチェックしていく大切さを再確認しました。
- ・ SRPを的確に行うことで、全身の健康につながっていることが症例を通じて改めてわかりました。内科的疾患の知識を深める事を痛感しました。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ しっかりとしたデンタルの読み取り、患者の情報を把握し、SRPの技術を向上させる必要があると思いました。
- ・ 全身疾患や薬の作用、副作用について、まだ勉強不足なので短期目標に入れていきたいと思います。
- ・ タバコ、全身疾患と口腔内の環境は、切っても切れない関係なのだと改めて感じました。もう少し深く全身疾患のことについて、学んでいかなければならないです。平板状の薄い歯石も探知出来るようになります。
- ・ 服薬とその副作用による口腔内への影響というのは、とても興味深い内容でした。これは小児患者でも考えられる事で、特にてんかんの患者さんの場合、歯肉膨張、発赤の傾向が強く、今度、この事について研究してみたいと思います。

症例発表「狭心症発症後の口腔内の変化とその対応」感想

- ・ 口腔内の状態も全身疾患と関係していることを知っていても、実際に徳本さんの発表を聞いて、本当にそうなんだなと感じました。全身疾患に対してまだまだ勉強不足なので、勉強したいと思います。
- ・ 全身疾患の関連は今後の課題だったので、とても参考になりました。
- ・ とても勉強になりました。なるほどという感じでした。服薬後の歯肉が口腔内カメラで自分でもわかったので、少し、私も成長したのかなと思いました。
- ・ 全身疾患との関係について、とても勉強になりました。ありがとうございました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ ミーティングは学びの場であるだけでなく、衛生士さんのモチベーションアップに大きな効果がありますので、今後も続けてもらえるとありがたいと思います。(Dr)
- ・ DHの成長の場として、とても貴重な場だと思います。運営には色々大変な面もあるかと思いますが、頑張ってください。本日はありがとうございました。(Dr)
- ・ 今日も多く学び、気づきがありました。ありがとうございました。(Dr)
- ・ 今回参加させて頂いて、勉強になることが多々ありました。患者さんのために、人間的に成長し、技術を身に付けていきたいと思いました。
- ・ 初めて参加させて頂きました。もっと意識を変化して、向上し発表して下さった方々のように発表したいです。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ 他院の症例発表を毎年聞くことが出来、とても勉強になります。私自身でやるべきことや、歯科医院としてやるべきことが少し見えてきたような気がします。受け身の状態では、なかなか患者数が増えないので、こちらからアクションを起こす費用があるなど改めて考えさせられました。
- ・ 去年のHAMに私用で参加できず、今回は参加することが出来て良かったです。ハイジアの症例発表や新しい情報は、すぐに患者さんに提供出来る内容が多いので、また新たな気持ちで勤務できます。また、来年も参加したいのと、ハイジアのセミナーにも進んで参加したいと思っています。
- ・ 素晴らしい時間を過ごすことができました。今後の臨床に生かしていきたいです。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ 日吉の症例発表形式を見習いたいと思います。
視野をもっと広くし、疑問などより深く探究していきたいです。
徳本さんには、医院の事を考えて頂き感謝します。
少しでも院外に正しい情報提供をし、社会貢献が出来ればと思います。
セミナーは山形開催でも良いです。
- ・ 熊谷先生のお話が聞けるなら、酒田でのセミナーに行きたいと思います。
症例も失敗したところから、どうやって皆で努力、工夫して成功にもっていったのかといった、流れがわかる症例だと共感が持てます。
- ・ この会に参加すると本当にモチベーションがアップします。
スタッフとの温度差もあるかも知れませんが、また、明日から頑張ります。
日吉歯科の症例をたくさん聞きたいので、酒田での開催もお願いしたいです。
専門的な勉強会も素晴らしいと思いますので、お願いします。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ 徳本さん、村岡さんの発表は、講演を受けているように感じるくらい勉強になりました。皆さんが知識を共有し、聴けて良かったと思うような発表を出来るようになりたいと思います。
ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。
ステイタスについて、私もよく考えてみます。
- ・ 多くの症例、長期症例やめずらしい症例などをお聞きすることが出来て勉強になりました。ハイジアの一員として、立派な衛生士になりたいと思っています。
- ・ 参加して良かったです。ハイジアの活動も協力できる場所があればしていきたいと思います。チームミーティングでは近年「ポスタープレゼン」がないので、ハイジアでそういう機会があっても良いのでは。人前で話す事が苦手なDHでも、ポスターならプレゼンできるかも知れないので。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・今回出席するにあたり、初めての出席だったのでとても楽しみにして来ました。期待以上の実りのある内容だったと思います。私も、ハイジアに全面的に協力し、チームミーティングに並ぶくらい大きなイベントにしていきたいと思いました。私もいつか、沢山の人々に影響を与えられるDHになりたいと思いました。
- ・参加できて、とてもよかったです。自分も発表できるように頑張りたいと思います。症例ももっと見たいです。
- ・改めて歯科衛生士の仕事はとても意味のあることだと感じました。皆さんの発表を聞き、分かりやすいスライドを作り、発表されている姿を見て、素晴らしいと思いました。ありがとうございました。日吉歯科診療所の症例は、やはりとても勉強になるので、私はこれからも拝見したいと思いました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・今回、初めてのHAM参加でしたが、チームミーティングやその他の日吉主催のセミナーに比べて、DHのための集まりという感じがし、自分の興味のあることがたくさん出てきて、とても勉強になりました。
- ・チームミーティングでの発表と違い、本気でMTMに取り組んでいるDHの発表や意見が聞けて、とても刺激を受ける事が出来ました。
- ・今まで、患者さんの口腔内の健康を守ることは考えてきましたが、ステイタスを向上させることの大切さを感じ、今後のことももっと考えたいと思いました。
- ・歯科衛生士の地位向上については、私もすごく興味があって、今後取り組んでいきたいとも考えています。自分の考えをまとめるうえでも、今回はすごく良い機会になりました。ありがとうございました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ 正直、すごく楽しかったです。色々な歯科衛生士さんたちの考え方そして、皆と同じ方向に向かって、常に成長していくことを忘れずにいること。私も改めて今の自分を見直すいい機会だったと思います。
- ・ 初めて参加させて頂きましたが、皆さんのプレゼンはすごくハイレベルなものばかりで、とても勉強になりました。
ありがとうございます。ぜひ、来年も参加させて頂きたいと思いました。また機会があれば発表もさせて頂きたいと思いました。
熊谷先生のお話や、日吉歯科のデータを見せて頂きたいので、酒田での開催を望みます。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 普通のセミナーと違い、とても内容の濃いセミナーでした。
症例発表などは、失敗例だけなどまとめて発表するのも、すごくおもしろく勉強になるのではと思いました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・初めてハイジアのミーティングに出させて頂きましたが、今、自分の持っている技量や知識はあまりにも未熟なので、皆さんの症例や取り組みを沢山見ることができ、これから学ぶことが沢山あるなと思いました。活動がもっと大きくなって、日本中がMTMに沿った医院になればいいのにと感じました。
- ・日吉歯科の発表の質の高さ、DHの勉強の深さを感じた。勉強しやすさと、何が問題かを見つける目を持つ事が大事だと思った。今後も、自分がどうなりたいか、しっかり見つめ直して勉強していきたいと感じた。
- ・とても勉強になる、モチベーションを上げてもらう時間ありがとうございました。担当を持っている衛生士として学びたい部分は、いかにカリエス、ペリオを再発させない事です。メンテナンスのポイントなど学ぶ場もあればと思います。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・今更ながら、OP診療室は出来ていないと感じました。またここから整え、100%MTM実施率ができたと発表出来るようにしたい。今後、熊谷先生に良い報告が出来るよう、OPとして日々活動したいと思います。毎年、ハイジアでの勉強をしたいので、一つのテーマを絞って、深く勉強できるセミナーを希望します。
- ・座談会では、普段他院（OP医院）のDHとの交流の機会がない分、とても貴重な時間となりました。症例発表を通して、今自分がすべきこと、改めて見直す必要があることなど、いろいろ考えるものが、たくさんありました。また、一人でも多くの患者さんの歯を一本でも多く維持できるよう、日々、精進していきたいと思いました。
- ・ハイジアの衛生士として読んでおいたほうが良い本（文献など）やセミナーがあれば紹介して欲しい。自分を歯科衛生士として見直すためにも症例作りをしたいと思いました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・参加して良かったです。ありがとうございました。
来年。絶対に発表します。いろいろと大変かと思いますが、頑張ってください。
- ・2日間、とても貴重な時間だったと思います。今後、歯科衛生士として何をしていくのか、日本の歯科衛生士として、何をしていかなければいけないのか、徳本さんの強い思いも感じとれて、私も何かしなければといけないと思いました。
- ・様々な症例に触れて、規格資料や長期症例の貴重さがよくわかりました。と同時に疑問や葛藤の一因に、知識不足や見落としといった自分の努力不足によるところが大きかったと思い直しました。
本当に、とても勉強になりました。
- ・症例発表後の質疑応答の時間も充実していて、徳本さんやその他の方のアドバイスは大変勉強になりました。今後もHAMに参加させて頂きたいと思いました。とても感動しました。

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・ また来年も楽しみに頑張っていきたいと思います。
- ・ 徳本さんに、是非、今の医院に来て頂きたいです。東京でもセミナーをたくさんして欲しいです。現状で満足せず、何が出来るかを常に考えながら診療に取り組みます。
- ・ 全体を通して、とても勉強になりました。参加されている方々のモチベーションの高さ、熱意は、良い刺激になり、有意義な2日間でした。これからハイジアの活動に、もっとたくさん参加させていただきます。
- ・ 今後も日吉歯科の症例が見たいです。
- ・ 今年も参加させて頂いて、様々な年齢層のDHの発表があり、学ぶことがたくさんありました。経験のあるDHの方からも、若いDHの方も一生懸命学び続けている姿勢を見て刺激を受けました。自分がDHとしてどのようになりたいか、再度考えたいと思います。いつも、ありがとうございます。

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)

HAM2011ミーティング感想・ハイジア活動への要望等

- ・今回、初めて参加させて頂き、とても充実した日になりました。次回もぜひ参加したいと思います。貴重な時間をありがとうございました。

HAM2011講演・症例発表会を終えて

今年も太田先生や参加者の皆様のご協力により、HAM2011を開催することが出来ました。ありがとうございました。

ハイジアも今年で6年目を迎えました。皆さんのアンケートから、着実にMTMを実践しているOP医院が増えていることが実感できます。

また、参加者の歯科衛生士さんが、Hygeia歯科衛生士として、目標を持って取り組んでいることもうかがえました。

太田先生のご発表では、私が歩んできたこととリンクすることも多く、自分の歩んできた道のりを懐かしく感じました。私は8年前に、太田先生から、カウンセリングの方法や媒体を教えていただき、そのまねをすることから始めました。歯科衛生士も、自分がどうありたいかを考え、腹をくくる必要があるという言葉がとても印象的でした。Hygeia会長としてどう腹をくくり、会員のために何ができるか？そんなことを考えています。

来年も皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

2011年11月 ハイジア会長 徳本美佐子

Oral Physician 歯科衛生士部会 **Hygeia**(ハイジア)